



令和6年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



5月(皐月)

幸せに生きてほしい

校長 小倉 孝行

入学、進級から1か月が経ちました。子どもたちは新しいクラスに少しずつ慣れ自分の目標に向けてチャレンジしようとしています。ご家庭でお子さんに、新年度に向けたお話をさせていただいたおかげだと感じています。ありがとうございました。

本校では、「たてわり活動」(異なる学年同士の交流活動)や「ペア活動」(1と6、2と5、3と4年生の児童がペアとなり、一年間、上級生がペアの児童のお世話をする活動)を通して、子どもたちの心を育むことを大切にしています。4月15日(月)、全校児童が校庭に集まり児童主催の「1年生を迎える会」を開きました。はじめに1年生が2～6年生の拍手に迎えられ校庭に入場しました。緊張している1年生を和らげようと、全校児童でレクリエーションをしました。その後、2～6年生が1年生にダンスを披露し、「困ったことがあったら聞いてね。」「勉強も楽しいよ。頑張ろうね。」「一緒に思い出をたくさんつくろうね。」と言葉を送りました。そして、1年生の代表児童が「今日はありがとう。1年間よろしくお願いします。」と頑張っけて伝えていました。この1か月間、子どもたちの素敵な姿をたくさん見ることができました。どうしたらペアの1年生と仲良くなれるかと真剣に考え、毎朝1年生が登校してくるのを待っていたり、1年生の教室へ行って一緒に遊んだりしている6年生。校内で迷っていた1年生に「大丈夫だよ。こっちだよ。」と声をかけている4、5年生。休み時間、校庭で1年生に話しかけたり一緒に遊んだりしている2、3年生。中には1年生の体調を気にかけてくれる子どもたちもいました。優しい子どもたち。ぜひ、ご家庭でお子さんにこの1か月間の様子を聞いていただき、たくさん褒めていただきたいです。



「1年生を迎える会」で
全校児童で遊んでいる様子

令和6年度のスタートにあたり、「校長の思い」を教職員に伝えました。私の思いは「生麦小学校の子どもたちに、将来、幸せに生きてほしい。」ということです。大人になっても日々悩むことはあると思います。それでも、多くの人に愛され、希望をもって生きてほしいと考えています。子どもたちには自分を大切に、相手も大切にすることを育みたいと思います。学校では多くの体験を通して達成感を味わわせ、子どもたちの自己有用感(人の役に立った、人から認められたという感情)や自己肯定感(自分の存在そのものを認める感情)を高めていきます。そのために、次の3点を大切にしたい学校づくりをして参ります。

第一は「子どもが笑顔で通える温かい学校づくり」です。児童一人ひとりにとって、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送れることが一番大切だと考えています。339名の児童すべてにこうした状況を作ることにはかなり難しい課題です。ですがこうした課題の克服に向けて、担任だけではなく、様々な教職員がお子さんに寄り添い、一歩ずつ着実に取り組んで参ります。

第二は「保護者の気持ちになって、子どもを支える学校づくり」です。「自分が児童の保護者だったらどうしてほしいか。」という考えで、判断と行動ができるように努めて参ります。

第三は「地域とともに歩む学校づくり」です。本校は、改めて言うまでもなく「地域の学校」として、地域の皆様と様々な形で連携し、ご支援いただいています。今後も「地域の学校」としての役割をしっかりと受け止め、地域、保護者の皆様との絆を大切にしながら取り組んで参ります。また、学習や行事での子どもたちの様子を、ホームページ等でお伝えして参ります。子どもたちの成長を温かく見守ってくださいますようお願いいたします。また、創立100周年に向けて、6月3日(月)から6月14日(金)の平日午前中と、15日(土)本校1階円形ホールにて地域、保護者の皆様がふれあえる交流場を開く予定です。ご来校ください。

これから暑い日が増えていきます。熱中症対策も含め、子どもたちの健康と安全に十分に配慮しながら教育活動を進めて参ります。今後も、皆様にご支援、ご協力をいただく場面が多々あると思います。どうぞよろしくお願いいたします。